2026年11月2日

各位

会 社 名　株式会社RAVIPA
（コード番号 5893 TOKYO PRO Market）
代表者名　代 表 取 締 役　新井　亨
問合せ先　経　理　部　長　松田　昂大
T　E　L　03-6907-3950
U　R　L　https://ravipa.co.jp/

AIデータセンター事業の事業化検討に向けた企画推進室設置に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、新たな事業領域としてAI向け高性能GPUサーバーを活用したAIデータセンター事業の事業化に向けた検討を推進するため、「AIデータセンター事業企画推進室」を設置することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．設置の背景

近年、企業のデジタルトランスフォーメーション（DX）の進展やクラウドサービスの普及、さらに生成AIをはじめとするAI技術の急速な発展と普及を背景に、大規模な計算資源の処理が可能なAIデータセンターに対する需要は、世界的に中長期的な拡大が期待されております。

このような事業環境のもと、当社は、既存のサブスクリプション型ビジネスを通じて培ってきた継続的な収益基盤の構築・運営に関する知見を活かし、収益基盤の多様化及び中長期的な企業価値の向上を目指しております。

その一環として、AI時代の高度なインフラ需要に対応するAIデータセンター事業を新たな成長機会の一つと捉え、最先端の計算資源の安定調達に向けた各種認定取得の協議を含め、事業化の可能性について多角的な検討・準備を進めるため、「AI データセンター事業企画推進室」を設置することといたしました。

２．検討する事業の概要

（１）事業内容

当社は、高性能GPUサーバーを活用し、AIの学習・推論などに利用できる計算環境を企業等へ提供するAIデータセンター事業を想定しております。なお、提供対象、提供方法、契約形態その他の事業スキームについては、今後検討する予定です。

（２）導入設備および規模

NVIDIA製等の高性能GPUサーバーを活用した計算資源提供を想定しております。なお、導入する

機種、台数、調達条件、設備投資額及び導入時期等については今後検討する予定です。

（3）設置場所

日本国内のデータセンター施設を候補として想定しております。具体的な設置先については、必要な電力容量、冷却設備、通信環境、セキュリティ及び運営条件等を踏まえて今後検討する予定です。

（4）運営・管理体制

当社を事業主体とすることを前提に、技術支援、設備運営及び保守管理等については外部専門事業者との連携も含めて検討する予定です。また、安全保障貿易管理を含む関連法令及び規制への対応も踏まえ、事業運営に必要な管理体制を検討する予定です。

3．AI データセンター事業企画推進室の概要

（1）設置目的

AI データセンター事業への参入可能性を検証するとともに、事業化に向けた調査、企画立案及び関係各所との調整を推進することを目的としております。

（2）主な検討事項

① AI データセンター市場、想定顧客および事業環境の調査・分析
② GPU 計算環境提供の事業モデル、収益性および設備投資額の検証
③ GPU サーバーの仕様、調達条件、導入規模・時期の検討
④ 国内データセンター施設の候補選定、電力・冷却・通信環境等の調査
⑤ 供給事業者等との認定取得に関する協議および安全保障貿易管理への対応
⑥ 外部事業者との協業・事業提携の可能性の検討
⑦ 事業化に向けた投資規模、資金調達手法及び事業リスクの検証

（3）設置日

2026 年 11 月 2 日（予定）

4．今後の見通し

現時点において、AI データセンター事業への参入及び具体的な事業開始時期等については決定しておらず、当期の連結業績に与える影響についても未定であります。今後、事業化に向けた検討を進め、資金調達、投資総額、運用開始時期等の開示すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

以上